

MS837

データ編集機能について



日本語版

Version 1.0

1. 概要

MS837 のデータ編集機能を使用すると、読み取ったバーコードデータから希望部分だけのデータを抽出して送信したり、データの途中に文字を挿入したりできます。設定は、プロパティとパラメータを組み合わせで行ないます。

データ編集は、必ずスキャナを**工場出荷標準値**にしてから設定してください。事前の設定情報を残したままデータ編集を行なうと希望と異なるデータが送信される可能性があります。

プロパティ

以下の5つのプロパティを使用します。

プロパティ	詳細
コードタイプ (必須)	: データ編集機能を適用させるコードタイプを定義します。
データ長 (必須)	: データ編集機能を適用させるコードタイプのデータ長を定義します。データ長は固定長で定義します。定義可能な範囲は1~70です。
バイト長 (必須)	: データ解析部の全データ長を定義します。
データ解析部 (必須)	: 読み取ったバーコードデータを解析し文字列操作や任意の文字挿入を行ないます。データ解析部では、1バイト単位で最大14バイトまで定義することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・文字列操作 : 1項目につき2バイトを使用 ・文字挿入 : 1項目につき1バイトを使用
検索文字列 (任意)	: 1~3文字の任意の文字(列)を定義します。定義した文字(列)が、読み取ったバーコードデータ先頭の文字(列)と一致した場合のみデータ編集機能が適用されます。

パラメータ (任意数字)

プロパティの**データ長**および**バイト長**で使用します。実際に設定する数字の末尾に0を加えて表現します。例えば**3**を設定したい場合は**30**とします。

パラメータ (コードタイプ)

プロパティの**コードタイプ**で使用します。使用可能なパラメータは、[コードタイプテーブル](#) (11 ページ) を参照してください。

パラメータ (文字列操作)

プロパティの**データ解析部**で送信する文字の範囲を指定するために使用します。使用可能なパラメータは[文字列操作テーブル](#) (12 ページ) を参照してください。

パラメータ (ASCII 文字)

プロパティの**データ解析部**および**検索文字列**で任意の文字を指定するために使用します。使用可能なパラメータは[ASCII 文字テーブル](#) (13 ページ) を参照してください。

2. 設定方法

データ編集コマンドは、プロパティとパラメータの組み合わせによって定義されます。使用可能なすべてのプロパティは、[プロパティテーブル](#) (10 ページ) を参照してください。使用可能なすべてのパラメータは、[コードタイプテーブル](#) (11 ページ)、[文字列操作テーブル](#) (12 ページ)、[ASCII 文字テーブル](#) (13 ページ) を参照してください。

例えば、コードタイプ (**プロパティ=7081**) に Code 39 (**パラメータ=800**) を指定する場合は、以下のようデータ編集コマンドを定義します。

[データ編集コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]
7081800	= 7081	+ 800

データ編集コマンドを使用して、シリアルホストコマンドまたは設定バーコードによって設定をおこないます。

シリアルホストコマンド

データ編集コマンドを、シリアルホストコマンドによってホストからスキャナへ送信し設定を行ないます。シリアルホストコマンドの詳細については、ユーザーマニュアルの該当項目をご確認ください。

設定バーコード

データ編集コマンドを、設定バーコードとして作成し、スキャナに読み込ませて設定を行ないます。設定バーコードは、先頭に **FNC3** を配置した **Code 128** で作成します。

3. データ解析部の定義方法について

データ解析部では、文字列操作および文字の挿入を行なうことができます。データ解析部は、最大 14 バイトのデータ編集コマンドによって定義されます。1 バイトにつき 1 個のデータ編集コマンドを使用します。

文字列操作では、常に 2 バイトを使用して定義します。文字列操作では、1 バイト目で文字列の範囲の先頭を、2 バイト目で文字列の範囲の末尾を定義します。

例えば、4 文字目から 9 文字目までの範囲で定義する場合は、以下のよう定義します。

1 バイト目：8084**1320**

2 バイト目：8085**1370**

例えば、5 文字目だけを定義したい場合は、以下のよう定義します。

1 バイト目：8084**1330**

2 バイト目：8085**1330**

文字の挿入では、常に 1 バイトを使用して定義します。

例えば、データの先頭に \$ (ドルマーク) を挿入したい場合は、以下のよう定義します。

1 バイト目：8084**360**

4. バイト長指定について

バイト長は、データ解析部で定義したバイト数です。データ解析部で6バイトを定義した場合は、データ長を60と定義します。

5. プリフィックスとサフィックスについて

データ編集が適用されたデータは、グループ毎にプリフィックスおよびサフィックス送信の有無を設定することができます。



プリフィックス/サフィックスを送信する グループ 1



* プリフィックス/サフィックスを送信しない グループ 1



プリフィックス/サフィックスを送信する グループ 2



* プリフィックス/サフィックスを送信しない グループ 2



プリフィックス/サフィックスを送信する グループ 3



* プリフィックス/サフィックスを送信しない グループ 3



プリフィックス/サフィックスを送信する グループ 4



* プリフィックス/サフィックスを送信しない グループ 4

6. 設定例①

15桁のCode 128に対して、3文字目から10文字目までを範囲指定して送信する。

必要なデータ編集コマンド

[コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]	備考
7081830	=	7081 + 830	コードタイプ指定
8082150	=	8082 + 150	データ長指定
808320	=	8083 + 20	バイト長指定
80841310	=	8084 + 1310	1バイト目
80851380	=	8085 + 1380	2バイト目

設定するための実際のコマンド群

設定バーコード	シリアルホストコマンド	
	[STX]9999999[ETX]	1. 設定モード開始/終了
	[STX]7081830[ETX]	2. コードタイプ指定
	[STX]8082150[ETX]	3. データ長指定
	[STX]808320[ETX]	4. バイト長指定
	[STX]80841310[ETX]	5. 1バイト目
	[STX]80851380[ETX]	6. 2バイト目
	[STX]9999999[ETX]	7. 設定モード開始/終了

サンプルバーコード

 => 12345678
A B 1 2 3 4 5 6 7 8 C D E F G

7. 設定例②

10桁のすべてのコードタイプに対して、6文字目から10文字目を送信してから1文字目から5文字目を送信する。

必要なデータ編集コマンド

[コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]	備考
708100	= 7081	+ 00	コードタイプ指定
8082100	= 8082	+ 100	データ長指定
808340	= 8083	+ 40	バイト長指定
80841340	= 8084	+ 1340	1バイト目
80851380	= 8085	+ 1380	2バイト目
80861290	= 8086	+ 1290	3バイト目
80871330	= 8087	+ 1330	4バイト目

設定するための実際のコマンド群

設定バーコード	シリアルホストコマンド	
	[STX]9999999[ETX]	1. 設定モード開始/終了
	[STX]708100[ETX]	2. コードタイプ指定
	[STX]8082100[ETX]	3. データ長指定
	[STX]808340[ETX]	4. バイト長指定
	[STX]80841340[ETX]	5. 1バイト目
	[STX]80851380[ETX]	6. 2バイト目
	[STX]80861290[ETX]	7. 3バイト目
	[STX]80871330[ETX]	8. 4バイト目
	[STX]9999999[ETX]	9. 設定モード開始/終了

サンプルバーコード



=> 12345ABCDE

8. 設定例③

6桁のすべてのコードタイプに対して、2文字目と4文字目と6文字目だけを送信する。

必要なデータ編集コマンド

[コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]	備考
708100	= 7081	+ 00	コードタイプ指定
808260	= 8082	+ 60	データ長指定
808360	= 8083	+ 60	バイト長指定
80841300	= 8084	+ 1300	1バイト目
80851300	= 8085	+ 1300	2バイト目
80861320	= 8086	+ 1320	3バイト目
80871320	= 8087	+ 1320	4バイト目
80881340	= 8088	+ 1340	5バイト目
80891340	= 8089	+ 1340	6バイト目

設定するための実際のコマンド群

設定バーコード	シリアルホストコマンド	
	[STX]999999[ETX]	1. 設定モード開始/終了
	[STX]708100[ETX]	2. コードタイプ指定
	[STX]808260[ETX]	3. データ長指定
	[STX]808360[ETX]	4. バイト長指定
	[STX]80841300[ETX]	5. 1バイト目
	[STX]80851300[ETX]	6. 2バイト目
	[STX]80861320[ETX]	7. 3バイト目
	[STX]80871320[ETX]	8. 4バイト目
	[STX]80881340[ETX]	9. 5バイト目
	[STX]80891340[ETX]	10. 6バイト目
	[STX]999999[ETX]	11. 設定モード開始/終了

サンプルバーコード



9. 設定例④

8桁のすべてのコードに対して、4文字目と5文字目のあいだに Tab を挿入する。

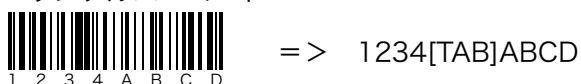
必要なデータ編集コマンド

[コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]	備考
708100	= 7081	+ 00	コードタイプ指定
808280	= 8082	+ 80	データ長指定
808350	= 8083	+ 50	バイト長指定
80841290	= 8084	+ 1290	1 バイト目
80851320	= 8085	+ 1320	2 バイト目
808690	= 8086	+ 90	3 バイト目
80871330	= 8087	+ 1330	4 バイト目
80881360	= 8088	+ 1360	5 バイト目

設定するための実際のコマンド群

設定バーコード	シリアルホストコマンド	
	[STX]999999[ETX]	1. 設定モード開始/終了
	[STX]708100[ETX]	2. コードタイプ指定
	[STX]808280[ETX]	3. データ長指定
	[STX]808350[ETX]	4. バイト長指定
	[STX]80841290[ETX]	5. 1 バイト目
	[STX]80851320[ETX]	6. 2 バイト目
	[STX]808690[ETX]	7. 3 バイト目
	[STX]80871330[ETX]	8. 4 バイト目
	[STX]80881360[ETX]	9. 5 バイト目
	[STX]999999[ETX]	10. 設定モード開始/終了

サンプルバーコード



10. 設定例⑤

13桁のCode128に対して、XYZから始まる場合は6文字目から10文字目までを範囲指定して送信する。

必要なデータ編集コマンド

[コマンド]	[プロパティ]	[パラメータ]	備考
7081830	=	7081 + 830	コードタイプ指定
8082130	=	8082 + 130	データ長指定
808320	=	8083 + 20	バイト長指定
80841340	=	8084 + 1340	1バイト目
80851380	=	8085 + 1380	2バイト目
8478880	=	8478 + 880	検索1文字目
8479890	=	8479 + 890	検索2文字目
8480900	=	8480 + 900	検索3文字目

設定するための実際のコマンド群

設定バーコード	シリアルホストコマンド	
	[STX]9999999[ETX]	1. 設定モード開始/終了
	[STX]7081830[ETX]	2. コードタイプ指定
	[STX]8082130[ETX]	3. データ長指定
	[STX]808320[ETX]	4. バイト長指定
	[STX]80841340[ETX]	5. 1バイト目
	[STX]80851380[ETX]	6. 2バイト目
	[STX]8478880[ETX]	7. 検索1文字目
	[STX]8479890[ETX]	8. 検索2文字目
	[STX]8480900[ETX]	9. 検索3文字目
	[STX]9999999[ETX]	10. 設定モード開始/終了

サンプルバーコード

=> 12345
X Y Z - - 1 2 3 4 5 - - -

=> ABC-12345---
A B C - - 1 2 3 4 5 - - -

11. プロパティテーブル

		グループ #1	グループ #2	グループ #3	グループ #4
コードタイプ		7081	7098	7115	7132
データ長		8082	8099	8116	8133
バイト長		8083	8100	8117	8134
データ 解析部	1 バイト目	8084	8101	8118	8135
	2 バイト目	8085	8102	8119	8136
	3 バイト目	8086	8103	8120	8137
	4 バイト目	8087	8104	8121	8138
	5 バイト目	8088	8105	8122	8139
	6 バイト目	8089	8106	8123	8140
	7 バイト目	8090	8107	8124	8141
	8 バイト目	8091	8108	8125	8142
	9 バイト目	8092	8109	8126	8143
	10 バイト目	8093	8110	8127	8144
	11 バイト目	8094	8111	8128	8145
	12 バイト目	8095	8112	8129	8146
	13 バイト目	8096	8113	8130	8147
	14 バイト目	8097	8114	8131	8148
検索文字列 1 文字目		8478	8481	8484	8487
検索文字列 2 文字目		8479	8482	8485	8488
検索文字列 3 文字目		8480	8483	8486	8489

12. パラメータ - コードタイプテーブル

全てのコードタイプ	00
UPC-E	20
EAN-8	30
UPC-A	40
EAN-13	50
UPC-E 2桁アドオン	120
EAN-8 2桁アドオン	130
UPC-A 2桁アドオン	140
EAN-13 2桁アドオン	150
UPC-E 5桁アドオン	220
EAN-8 5桁アドオン	230
UPC-A 5桁アドオン	240
EAN-13 5桁アドオン	250
EAN-8 クーポンコード付き	330
EAN-13 クーポンコード付き	350
Code 39	800
Codabar	810
Interleved 2 of 5	820
Code 128	830
Code 93	840
MSI Plessey	910
Code 11	920
Airline 2 of 5	930
Matrix 2 of 5	940
Telepen	950
UK Plessey	960
Standard 2 of 5	980
TRI-OPTIC	990
GS1 DataBar Omnidirectional	1010
GS1 DataBar Limited	1020
GS1 DataBar Expanded	1030
GS1-128	1190

13. パラメータ - 文字列操作テーブル

1 文字目	1290
2 文字目	1300
3 文字目	1310
4 文字目	1320
⋮	⋮
67 文字目	1950
68 文字目	1960
69 文字目	1970
70 文字目	1980

14. パラメータ - ASCII 文字テーブル

一部の記号は、スキャナの国コードが正しく選択されていないと正常に出力できません。

値	RS232C モード		USB モード	
	16 進	ASCII コード	コントロールセット有効	コントロールセット無効
10	01H	SOH	Num Lock	Ctrl + Shift + A
20	02H	STX	↓	Ctrl + Shift + B
30	03H	ETX	- (テンキー)	Ctrl + Shift + C
40	04H	EOT	Insert	Ctrl + Shift + D
50	05H	ENQ	Delete	Ctrl + Shift + E
60	06H	ACK	System Request	Ctrl + Shift + F
70	07H	BEL	→	Ctrl + Shift + G
80	08H	BS	←	Back Space
90	09H	HT	Tab	Tab
100	0AH	LF	Caps Lock	Ctrl + Shift + J
110	0BH	VT	Shift Tab	Ctrl + Shift + K
120	0CH	FF	左 Alt	Ctrl + Shift + L
130	0DH	CR	Enter	Enter
140	0EH	SO	左 Ctrl	Ctrl + Shift + N
150	0FH	SI	↑	Ctrl + Shift + O
160	10H	DLE	F1	Ctrl + Shift + P
170	11H	DC1	F2	Ctrl + Shift + Q
180	12H	DC2	F3	Ctrl + Shift + R
190	13H	DC3	F4	Ctrl + Shift + S
200	14H	DC4	F5	Ctrl + Shift + T
210	15H	NAK	F6	Ctrl + Shift + U
220	16H	SYN	F7	Ctrl + Shift + V
230	17H	ETB	F8	Ctrl + Shift + W
240	18H	CAN	F9	Ctrl + Shift + X
250	19H	EM	F10	Ctrl + Shift + Y
260	1AH	SUB	Home	Ctrl + Shift + Z
270	1BH	ESC	Esc	Esc

値	RS232C モード		USB モード	
	16 進	ASCII コード	コントロールセット有効	コントロールセット無効
280	1CH	FS	Page Up	Alt + Insert + ↓ + ↑
290	1DH	GS	Page Down	Alt + Insert + ↓ + Page Up
300	1EH	RS	Print Screen	Alt + Insert + Page Down + Insert
310	1FH	US	End	Alt + Insert + Page Down + End
320	20H	スペース	スペース	スペース
330	21H	!	!	!
340	22H	“	“	“
350	23H	#	#	#
360	24H	\$	\$	\$
370	25H	%	%	%
380	26H	&	&	&
390	27H	‘	‘	‘
400	28H	(((
410	29H)))
420	2AH	*	*	*
430	2BH	+	+	+
440	2CH	,	,	,
450	2DH	-	-	-
460	2EH	.	.	.
470	2FH	/	/	/
480	30H	0	0	0
490	31H	1	1	1
500	32H	2	2	2
510	33H	3	3	3
520	34H	4	4	4
530	35H	5	5	5
540	36H	6	6	6
550	37H	7	7	7

値	RS232C モード		USB モード	
	16 進	ASCII コード	コントロールセット有効	コントロールセット無効
560	38H	8	8	8
570	39H	9	9	9
580	3AH	:	:	:
590	3BH	;	;	;
600	3CH	<	<	<
610	3DH	=	=	=
620	3EH	>	>	>
630	3FH	?	?	?
640	40H	@	@	@
650	41H	A	A	A
660	42H	B	B	B
670	43H	C	C	C
680	44H	D	D	D
690	45H	E	E	E
700	46H	F	F	F
710	47H	G	G	G
720	48H	H	H	H
730	49H	I	I	I
740	4AH	J	J	J
750	4BH	K	K	K
760	4CH	L	L	L
770	4DH	M	M	M
780	4EH	N	N	N
790	4FH	O	O	O
800	50H	P	P	P
810	51H	Q	Q	Q
820	52H	R	R	R
830	53H	S	S	S
840	54H	T	T	T
850	55H	U	U	U

値	RS232C モード		USB モード	
	16 進	ASCII コード	コントロールセット有効	コントロールセット無効
860	56H	V	V	V
870	57H	W	W	W
880	58H	X	X	X
890	59H	Y	Y	Y
900	5AH	Z	Z	Z
910	5BH	[[[
920	5CH	\	\	\
930	5DH]]]
940	5EH	^	^	^
950	5FH	_	_	_
960	60H	`	`	`
970	61H	a	a	a
980	62H	b	b	b
990	63H	c	c	c
1000	64H	d	d	d
1010	65H	e	e	e
1020	66H	f	f	f
1030	67H	g	g	g
1040	68H	h	h	h
1050	69H	i	i	i
1060	6AH	j	j	j
1070	6BH	k	k	k
1080	6CH	l	l	l
1090	6DH	m	m	m
1100	6EH	n	n	n
1110	6FH	o	o	o
1120	70H	p	p	p
1130	71H	q	q	q
1140	72H	r	r	r
1150	73H	s	s	s

値	RS232C モード		USB モード	
	16 進	ASCII コード	コントロールセット有効	コントロールセット無効
1160	74H	t	t	t
1170	75H	u	u	u
1180	76H	v	v	v
1190	77H	w	w	w
1200	78H	x	x	x
1210	79H	y	y	y
1220	7AH	z	z	z
1230	7BH	{	{	{
1240	7CH			
1250	7DH	}	}	}
1260	7EH	~	~	~